



よっば

半年ぶりの発行となります。

今年は桜が咲く時期も例年よりも早くなりましたね。平成30年度も威勢よく頑張っていきたいと思っておりますので、何卒よろしく願いいたします。

四つ葉教室ご紹介

平成29年度より開催スタートしました、四つ葉教室のご紹介です。

毎月第2火曜日、門真市民プラザ2階第2会議室にて介護予防教室を開催しております。(お知らせ同封しています) 30分はちよっとしたお勉強と、残り30分は介護予防に向けた体操です。

今年はバージョンアップし、90分の教室開催といたしました。

いきいき百歳体操ネタ!!

介護状態となることを予防し、いきいきとしたシニアライフを楽しむために、地域で『いきいき100歳体操』の啓発と立ち上げ支援を今年も引き続き行っています。継続は力なりです。

『いつまでも自分の足でしっかりと歩く!』住み慣れた地域で暮らし続けることができるように取り組んでおりますので、いつでもご相談ください。力になります!お知らせ同封しています。



第18号

平成30年5月1日発行

発行責任者

門真第4地域包括支援センター

門真市北島町12-3

☎072-887-6540

認知症の方も安心して暮らせる地域づくりを目指して

認知症になっても安心して暮らせる街づくりを目指して、門真でも取り組みを行っております。

少し事例をもとに取り組みを紹介いたします。

《事例》

自宅で夫婦二人暮らし。夫の物忘れの症状が進み、テレビに向かって話かけたり、見えないものが見えたり聞こえたり・・・昼夜問わず、自宅を出て警察の方に保護されたりすることもありました。妻も高齢で老々介護の中、かかりつけ医もなく、まずはどこに相談してよいかもわかりませんでした。

《対応》包括職員と認知症初期集中支援チームの推進員で自宅を訪問します。必要に応じて専門医も自宅訪問します。*この認知症初期集中支援チームには認知症推進員、看護師等の専門職、専門医や担当の包括職員を含め支援の方向性について検討します。

(リーフレット同封しています。)

《結果》認知症の専門医に繋がり、介護保険のサービスもご利用できるようになり、地域で孤立することなく安心した生活が継続できるようになりました。と、いうことになっています。

お伝えしたいことは、認知症を抱えるご本人やご家族も相談に至るまで大きな不安を抱えていたり、介護に奮闘して悩みを抱え、孤立してたりすることが多々あります。そこに専門職が介入することで、住み慣れた場所で生活が続けられるように、そっと支援をさせていただいております。民生委員さんが関わる高齢者の方の中にも認知症の方のことで相談を受けることも多々あるかと思えますし、今後も認知症相談は増加が予測されます。いつでもお気軽にご相談ください。

お気を付けください!! 消費者被害!!

消費者被害が増加しております。

たとえば・・・

息子や警察官などをよそおったオレオレ詐欺や架空請求のハガキが届いたとの相談が多いようです。

突然電話をかけて犯人が息子になりますし、「会社のお金を使い込んだ。助けて」などと言ってお金を騙しとられたり・・・

警察官や百貨店員になりますし、「クレジットカードが悪用されています!」と電話した後に警察官や銀行協会職員になりますし、犯人が「悪用されないように処理しましょう」などとカードを受け取りに来て暗証番号を訪ねてカードを騙しとられたり・・・等々。

「そんなまさか!」と思うようなことですが、詐欺集団の手口は巧妙で言葉巧みに騙してきます。何かあれば警察や消費生活センターへご相談下さい。30年度も特殊詐欺等被害防止機器の無料貸し出しがなされますので別途チラシをご確認ください。



沖サロン!
打越自治会!
色んな自治会へお話を伺いますので、気軽にお声掛け下さい!



沖サロンで福祉用具の説明会。
打越自治会で認知症初期支援チームについて説明会。
色々な自治会に伺いますので気軽にお声掛け下さい!



五月田ふれあい祭りで介護相談!
包括の管理者も子どもたちと一緒に祭りを盛り上げてました(笑)



毎月の「四つ葉教室」
みんなで元気に体操!!

編集後記:

先日、日本は巨木が多いというテレビ番組を見ました。意外な事に山奥の山林よりも街中に多いそうです。山林は栄養を取りあうため巨木になりにくく、街中では心の支えとして人々の手で大事にされ巨木になるそうです。地域の人同士もお互いを大事に心の巨木になれるといいなと思いました。